

参加費無料

令和3年度

おかやま森づくりサポートセンター



# 活動発表会参加者募集

日時：令和4年3月6日(日) 13:00~16:00 (受付12:30~)

会場：建部町文化センター 小ホール

## ■講演

### 森づくりの技術的話題と小さな自然再生の実例

講師 鳥取大学農学部

教授 日置佳之(ひおき よしゆき) 氏



#### 略歴

1957年東京都生まれ。東京農工大学卒業、信州大学大学院修士課程中退。東京都、国土交通省の造園職を経て、鳥取大学農学部教授。専門は「人間が壊した生態系を治す技術について研究する」生態工学。著書に『自然再生の手引き』『森林・林業実務必携』など。自生種・地域性種苗を用いた生物多様性緑化の実践で、2011年、日本緑化工学会技術賞受賞。山登り・スキー・シーカヤックなどの野外活動が大好き。技術士(環境部門)、1級造園施工管理技士、樹木医、森林インストラクター。

#### 講演の要旨

本講演では、森づくりの技術と小さな自然再生について実例をもとにお話します。

森づくりは、2つの方法、「木を植える森づくり」と「木を植えない森づくり」を紹介します。「木を植えない」と言うのは、意外かも知れませんが、「天然下種更新」と言って昔から使われている方法です。最近、大山山麓の鳥取県立オオタカの森で試されているアカマツ林の天然下種更新の話をしてします。

「木を植える森づくり」は、林業はもちろん、緑化工事や植樹行事などよく行われる方法ですが、実際にはさまざまな問題点もあります。それをどのように克服してちゃんとした森にしていくかについて、とくに落葉広葉樹林についてお話します。

「小さな自然再生」は、真庭市津黒高原湿原で行われている湿原再生の話です。資金も組織も何もないところから、どうやって湿原を再生したのか、足掛け10年になる事例についてご紹介します。

## ■情報提供

### ○岡山県農林水産総合センター森林研究所

ナラ枯れ被害の状況とその対策について



## ■活動発表

### ○倉敷地域森づくりの会



倉敷地域に適した森づくり活動を通じて、参加者に森林整備に必要な装備、資材の使い方等を習得してもらい、森づくりを楽しめる人材を育てたいと思っています。そして森林整備で発生する木材・竹材等と整備実施個所の有効利用を考え、会員はもとより地域住民が楽しめる活動を目指しています。

展示物：竹炭

### ○打穴中「鬼山ふる里」いきいき会



平成10年発足。地域のシンボルである鬼山の森林保全や整備・活用を進めています。樹木の除間伐、不要木の除去、下草刈りの整備作業と併せて薪やチップ作りの講習会を開いています。桜や広葉樹の植樹や遊歩道の整備を行い、登山会、見学会、桜まつり、ウォーキングなどのイベント会場として利用しています。また、「小学生親子・しいたけの菌打ち体験」も行っています。